

2022年3月3日

ロシア軍によるウクライナ侵攻に強く抗議し、即時停止するよう強く要請します

生活協同組合コープしが
理事長 白石一夫

2022年2月24日、ロシア軍によるウクライナへの侵攻が開始されました。
生活協同組合コープしがは、このたびのロシア軍によるウクライナ侵攻についてロシア政府に抗議し、武力行為の即時停止を求めます。

この侵攻は、武力行使を禁止する国連憲章に対する重大な違反であり、ウクライナの民間人の生命および安全に対する権利を深刻に侵害するものです。

こうしている今も、生活が脅かされ、命の危険にさらされている方々がいることに強い憤りを表明します。

また今回の一連の事態の中で、ロシアのプーチン大統領が核兵器使用を示唆したとされることは、戦争被爆国である日本の市民として断じて容認することができません。

被爆国である日本国民の共通の願いである、世界の平和と核兵器廃絶にむけて取り組みを続けてきた私たちとして強い懸念を表明します。

生活協同組合コープしがは「ともにつくる 笑顔あふれる未来」を理念に掲げ、人と人とながらることで安心と信頼を育み、笑顔あふれる未来を次世代に継承することを目指しています。この度のロシア軍によるウクライナへの侵攻は、人と人とのつながりを分断し、すべての人々が求める日常のくらしの安心を破壊する行為で、断じて容認できるものではありません。

私たちは、ウクライナの市民、そして必ずしもこの軍事侵攻を支持しているものではないロシアの市民が、日常生活を一日も早く取り戻すことを願います。そのために、国際社会が対話と外交を通じた最大限の努力をおこなうことを求めます。